

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年11月20日（水）

2 確認箇所

5／6号機サブドレン集水設備（5／6号機建屋周辺等）（図1）

3 確認項目

5／6号機サブドレン集水設備点検作業の状況

4 確認結果の概要

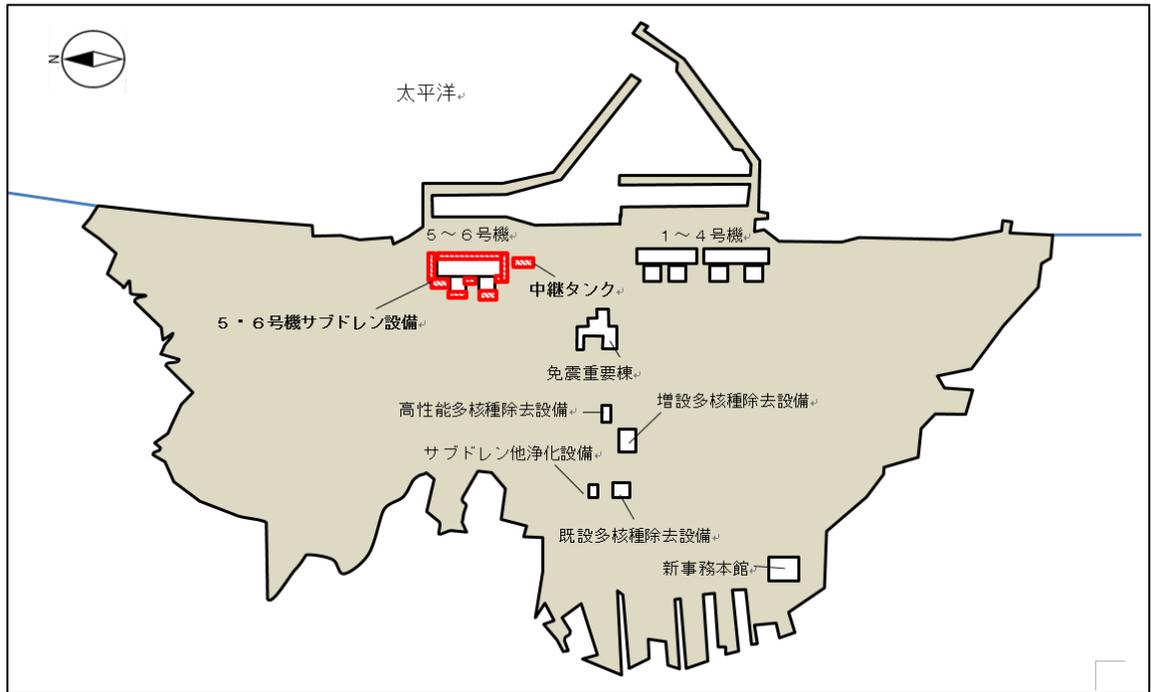
5／6号機サブドレン集水設備[※]は、東日本大震災以降、運用が停止されていた。その後、5／6号機建屋への地下水流入を抑制するため、令和2年9月から復旧工事を開始し、令和4年3月から運用を開始している。

本日は、設備の計画点検が実施されていることから、その状況について確認した。（前回確認：[令和6年9月6日](#)）

- ・5号機タービン建屋南側に設置されている中継タンクの周辺には、金属製ノッチタンク、移送ホース、プラスチック製タンク、発電機等が設置され、中継タンク内部に溜まった泥を取り除く作業が行われていた。（写真1）
- ・作業方法について聴き取りしたところ、次の工程で泥を回収しているとのこと。
 - ①中継タンク内の水及び泥を金属製ノッチタンクに移送し、ストレーナで異物を除去する。（写真1－6）
 - ②金属製ノッチタンク内の水及び泥をプラスチック製タンクに移送し、ろ布を使用して泥を取り除く。（写真1－7）
- ・移送ホースは二重化され、漏えい防止対策が実施されていた。（写真1－2～6）
- ・作業は指揮者の指示のもと適切に実施され、確認時において、設備や移送配管からの漏えい等の異常は確認されなかった。

※ 5／6号機サブドレン集水設備

復旧（揚水ポンプ、水位計、移送配管等の新設）した5／6号機建屋周辺の13基のサブドレンピット（東側エリア：6基 西側エリア：7基）で地下水を汲み上げ、新設した2基の中継タンクを経由して、既存の1～4号機のサブドレン集水タンクに移送する設備。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
中継タンク外観
(北東側から撮影)



(写真1-2)
中継タンクの設置状況



(写真1-3)
金属製ノッチタンク内水の移送作業
の実施状況



(写真1-4)
プラスチック製タンクへの水の受け
入れ作業の実施状況



(写真1-5)
発電機及び移送ホースの設置状況



(写真1-6)
異物を除去するストレーナ



(写真1-7)

泥を取り除く際に使用するろ布

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。